

# カーボン・オフセットフォーラム オープンセミナー & 第3回課題別ワークショップ (2008年9月25日) アンケート集計結果

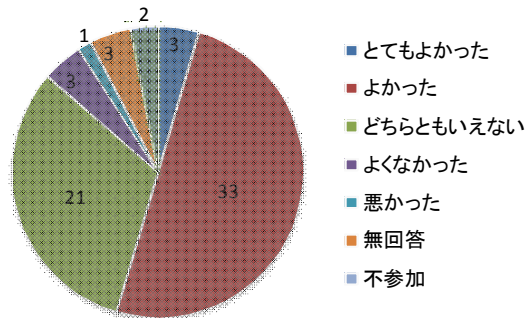
アンケート回収総枚数: 66枚

## オープンセミナーに関するアンケート結果

### 1. 本日のオープンセミナーのご感想は？

表 集計結果

とてもよかった	5人
よかった	38人
どちらともいえない	15人
よくなかった	3人
悪かった	1人
不参加	4人



### 具体的には…

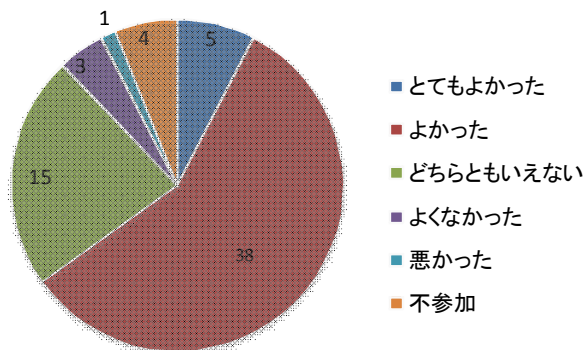
とてもよかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 具体事例紹介があったので。</li> <li>■ 企業の具体的な取り組み、進み具合、課題が理解できた。今後同様のオープンセミナーを実施していただきたい。</li> <li>■ COFは手探りの状態にあるので、各社の取り組みが、一番参考になった。経営に差し障りのない範囲で情報交換ができると大変有益。</li> </ul>
よかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 具体的事例が聞けたこと(複数回答有り)。</li> <li>■ 一般消費者に対するCO2削減の取り組みの参考になった。</li> <li>■ リースにも広げられることが分かった事。</li> <li>■ リース事業における本格的な事例紹介、IT業界での先進的な取り組みを知ることができた。</li> <li>■ 非製造業種の取り組みが分かった事。</li> <li>■ yahoo!Japanは米国とどこまで歩調を合わせるのか不明であるが、2億もの予算を毎年どう捻出するかをもう少し聞きたかった。</li> <li>■ メーカー負担によるCOFなどカーボンマーケティングの事例として参考になった。</li> <li>■ 企業努力を聞いた。</li> <li>■ 様々な企業の取り組みが参考になった。</li> <li>■ 販売商品のLCAをオフセットすることは考えていたが、リース物件につけるといことは考えていなかったもので、選択肢として検討していきたい。ヤフーのサイトは知ってはいたが、あまり活用してなかったもので、今後の参考にしたい。</li> <li>■ 事業規模の発表はすばらしい。</li> <li>■ 最先端の事例が担当者から聞けたこと。</li> </ul>
どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ワークショップの時間が短くなるのではないほうがよいのでは？</li> <li>■ 数回参加していると事例の内容も似通ってきている。テーマを決めて、その部分をより詳しく発表していただくなどメリハリがあつてよい。</li> <li>■ 第三者機関の認証のないものが普及してしまつてよいものか。</li> </ul>
よくなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 初参加だが、なぜこのような大々的なフォーラム・ガイドラインが必要なのか、削減に寄与するかが疑問である。</li> <li>■ 事前に資料をリリースしてもらえないと内容についていけない。</li> </ul>
悪かった	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 具体的事例が少なく、理解できない。</li> </ul>

## 第2回課題別ワークショップに関するアンケート結果

### 1. 本日の課題別ワークショップのご感想は？

#### 集計結果

とてもよかった	3人
よかった	33人
どちらともいえない	21人
よくなかった	3人
悪かった	1人
回答なし	3人
不参加	2人



具体的には…

とてもよかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 最新情報が入手できた。</li> </ul>
よかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ カーボン・オフセットの取り組みについて実感を持てたこと。</li> <li>■ 資料が充実。</li> <li>■ 問題点の論点が明確になりよかった。</li> <li>■ 専門用語の使い方、論点の整理。</li> <li>■ メーカー側の委員がいないのではバランスを欠く。オブザーバーでよいので加えるべき。</li> <li>■ 資料について、内容がよく。</li> <li>■ 形成過程が理解できた。</li> </ul>
どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 難しすぎて分からなかった。勉強してから望みたい。</li> <li>■ 円卓は会場真ん中に設置すべき。資料が探しにくかった。</li> <li>■ テーマが盛りだくさん過ぎる。</li> <li>■ 個別課題の協議時間が短いのではないか。</li> </ul>
よくなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 行政が行っている検討会のようなようだった。</li> <li>■ 初参加だが、なぜこのような大々的なフォーラム・ガイドラインが必要なのか、削減に寄与するかが疑問である。</li> <li>■ 資料が細かすぎて、事前に資料の公開でもないと内容が把握できない。事前にHPで公開するなどしてほしい。</li> </ul>
悪かった	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 表現、文字に対する委員のみの対論で、今後の展開、海外での事例紹介が欲しかった。</li> </ul>

### 2. カーボン・オフセットに対する第三者認証機関による認証基準(素案)についてご意見・ご要望をご記入ください。

- ビジネスモデルの仮説例があるとわかりやすいと思った。企業としての訴求なのか、商品展開として必須なのか、のポイントで理解しにくい点があった。
- 第三者認証機関の基準を明確にしたほうが良いのではないかと。経済産業省の国内クレジットは個人も可であるが、個人ではダメなのか。
- どの程度のレベルを要件にするかをよく検討した方が良いと思う。
- 実質的に機能する基準作りを目指して欲しい。
- 大枠としてはこうなのか。小規模事業者には、ハードルは高いか。
- 非常に漠然としていて、これを基準に判定ができるのか、疑問。第三者認証機関には、ISO 審査機関を想定しているとのことだが、排出量算定のバウンダリ設定など、技術的な内容も多い。ほかの業界の参入の

可能性もある。

- カーボン・フットプリントとの連動を図って欲しい。二重負担は避けて欲しい。
- 排出量算定の基礎となる排出係数(原単位)が大きく変化した場合、オフセット対象量も異なる。→どのように対応するか？ 電気、運輸など。
- 第三者認証機関が不適切な認証をした場合の、公表や罰則などを盛り込むべきと思う。
- 裁量余地を狭くし広く参加を促すような明確性・簡易性が必要である。「削減努力」をどのように定量化するかは課題ではないか。
- バウンダリのチェックを第三者認証機関はできるのか？非常にレベルやスキル力が問われる。
- 現在の素案では、とても機関は認証できない。
- 大企業の利益、権益になるのではないかと天下り機関になると思う。
- 第三者認証機関自身の基準について、もっと検討して欲しい。
- 手間をかけて基準を作るよりも、もっと簡便な基準で済ませれば良いと思う。
- 第三者認証機関とは誰なのかを明確にして欲しい。プロバイダーも含むか？
- オフセット商品活動が増えると、認証に時間がかかることが心配。
- オフセット商品については、カーボン・フットプリントとの整合性を考えて欲しい。
- 英国ではオフセット事業者を認定する形だと思うが、本素案が個別のオフセット取り組みを認証する想定であれば、参加者の負担も増え、広がらないのではないかと。
- 経済活動の妨げにならない程度にしてください。
- 環境改善第一で、利権がらみにだけはならないようにして欲しい。
- 認証機関の特定をして議論すべし。ISOも様々である。
- 過去2回からの進捗があまり感じられない。
- 第三者認証機関は登録制になるのか？

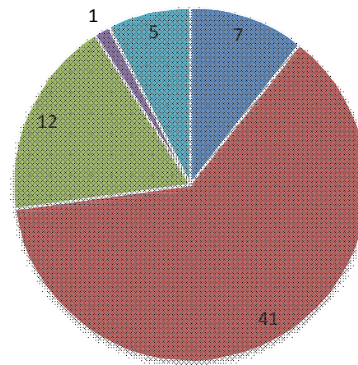
### 3. カーボン・オフセットラベルに対するご意見・ご要望があればご記入ください。

- 透明性があり、普及に資するラベルづくり。
- 第三者認証機関のグレードなりの表示を併記する必要がある。
- きちんとした、根拠のあるラベルを望みます。
- オフセットの宣言が信用に足るものである証明書は必要だと思う。
- 可能な限り、自己宣言(不特定多数)の拡大(普及・啓発)を目指していただきたい。
- 本来のCO2抑制を考えると、LCCO2となる。極端な例では、鉄とコンクリートの家を考えれば、鉄の家は作れなくなる？やはりステージ毎に分けるべきでは？
- 消費者に必要な情報を明確に伝えられるものであること。
- 何のための何のラベルなのか流通が明確にしてくれないと、消費者の間に普及しないと思われる。購入差別となりうるのか？日本ではならないだろう。
- 誰が付与するか自体決まっていないことは、この先不安。実現可能なのか？
- 1トン以下のクレジットの信用性が保てるようにするべきだ。
- ラベルの発行主体を明確にして欲しい。
- 広まるのか心配。
- 利権がらみにならないでほしい。ラベル＝使用料などはなくしてほしい。
- ラベルの発行は第三者認証機関？ それともオフセット提供者？

4. 質問① オフセットに用いるクレジットとして、①海外のプロジェクト、あるいは国内のプロジェクトの、いずれから生成されるものに興味がありますか？

表 集計結果

海外のプロジェクトからのクレジット	7人
国内のプロジェクトからのクレジット	41人
特に希望はない	12人
その他	1人
無回答	5人



- 海外のプロジェクトからのクレジット
- 国内のプロジェクトからのクレジット
- 特に希望はない
- その他
- 無回答

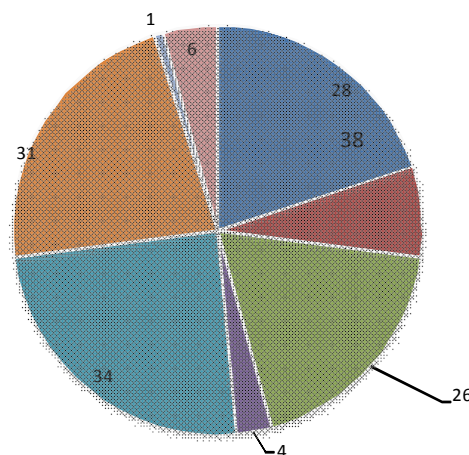
➡ その他として…

- 地産池消を原則とすること。

4. 質問② オフセットに用いるクレジットとして、②興味のある分野はなんですか？(複数回答可)

表 集計結果

省エネ	28人
廃棄物処理	10人
再生可能エネルギー	26人
運輸交通	4人
エネルギー転換(新エネルギー、コージェネ、バイオマス)	34人
吸収源(植林、森林管理)	31人
その他	1人
無回答	6人



- 省エネ
- 廃棄物処理
- 再生可能エネルギー
- 運輸交通
- エネルギー転換(新エネルギー、コージェネ、バイオマス)
- 吸収源(植林、森林管理)
- その他
- 無回答

➡ 具体的には…

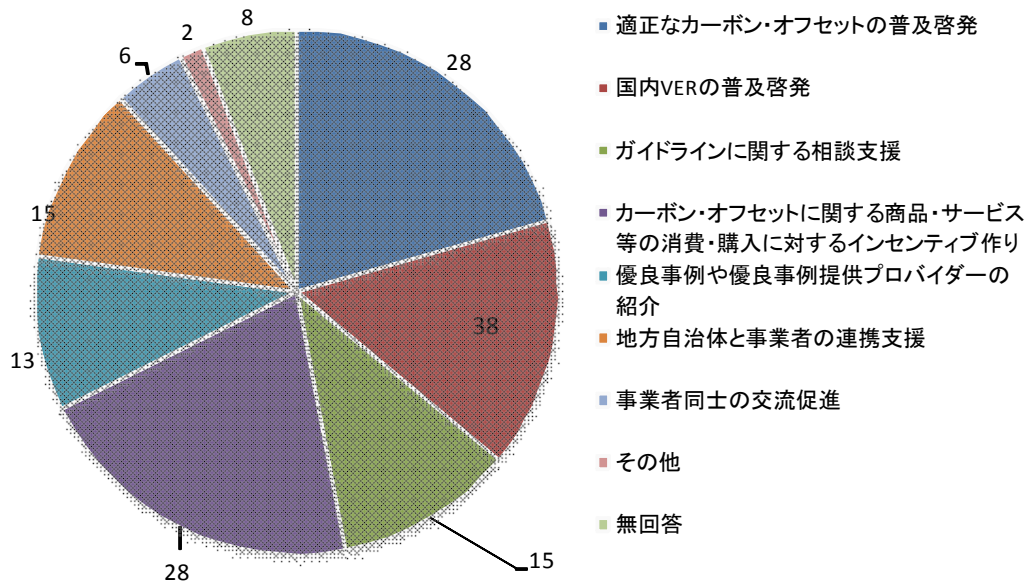
- 森林整備によるクレジット。
- なぜ焼却するバイオマス(サーマルリサイクル)がクレジットとなり、リユースやマテリアルリサイクルがクレジット化されていないのか、矛盾していると思う。循環型社会形成推進基本法の優先順位に沿うべきではないのか。
- 特に植生の回復(吸収源)。
- 国内 VER の取引について。
- 森林によるオフセットで生じる間伐材の炭素固定量も認証すべし。
- エネルギー転換の評価はマージナルで考えるべき。

■ 都市再生の一環としての街路樹や、里山などの保全・手入れによる吸収。

5. カーボン・オフセットフォーラムに対する要望があればお聞かせください(複数回答可)

表 集計結果

適正なカーボン・オフセットの普及啓発	28人
国内VERの普及啓発	21人
ガイドラインに関する相談支援	15人
カーボン・オフセットに関する商品・サービス等の消費・購入に対するインセンティブ作り	28人
優良事例や優良事例提供プロバイダーの紹介	13人
地方自治体と事業者の連携支援	15人
事業者同士の交流促進	6人
その他	2人
無回答	8人



その他として…

- 不良プロバイダー、不良事業者の公表
- プロバイダー事業に関する相談窓口

6. カーボン・オフセットフォーラムの活動に関してご意見・ご感想をご自由にご記入ください。

- 空調が劣悪(後半良好)、テーブルをもっと用意してほしい。
- 償却口座に入れるものは自主的活動として行わなくても政府が行うもので、追加的な削減にならないという点が非常に気になります。この点についてのコメントをお願いしたい。
- 事例を数多く収集して、紹介して欲しい。
- オープンセミナーでは暗くしないで欲しい(資料が見えないから)。
- もう一回コーヒープレイクが欲しい。それであと30分位Q&Aをやってもらいたい。
- 自己満足しているだけではないのか？
- フォーラムの活動を縮小して、自社の削減努力に励むべきである。
- 企業として、会計処理に関わること、税金などを知りたい。
- VER、カーボン・フットプリントなどとの連携はできているのか不透明である。
- もっと事業者がビジネスインしやすい仕組みの検討もすすめていただきたい。

- 今後とも事例紹介の場を設定していただきたい。また地方の活性化という意味からも地方自治体の紹介をしてほしい。
- 今後はカーボン・オフセットのシステム、今後の展開などのビジョンを示し、ケーススタディーの紹介など参加型のフォーラムにして欲しい。
- CO2 排出権としてあつめたお金の運用結果が想定どおりの CO2 削減になっているかどうか検証する方法について知りたい。
- 自己オフセットや個別オフセットの促進が大切である。ルールを設定して欲しい。